

### 第3学年 社会科学習指導案

#### 1 小単元名 市の様子

#### 2 小単元について

本小単元は、大単元「わたしたちの町や市の様子」の中の小単元であり、学習指導要領の第3学年及び第4学年の内容（1）にあたる。ここでの主な学習内容は、「自分たちの住んでいる身近な地域や市（区、町、村）について、観察、調査したり白地図にまとめたりして調べ、地域の様子は場所によって違いがあることを考えるようにする」ことである。

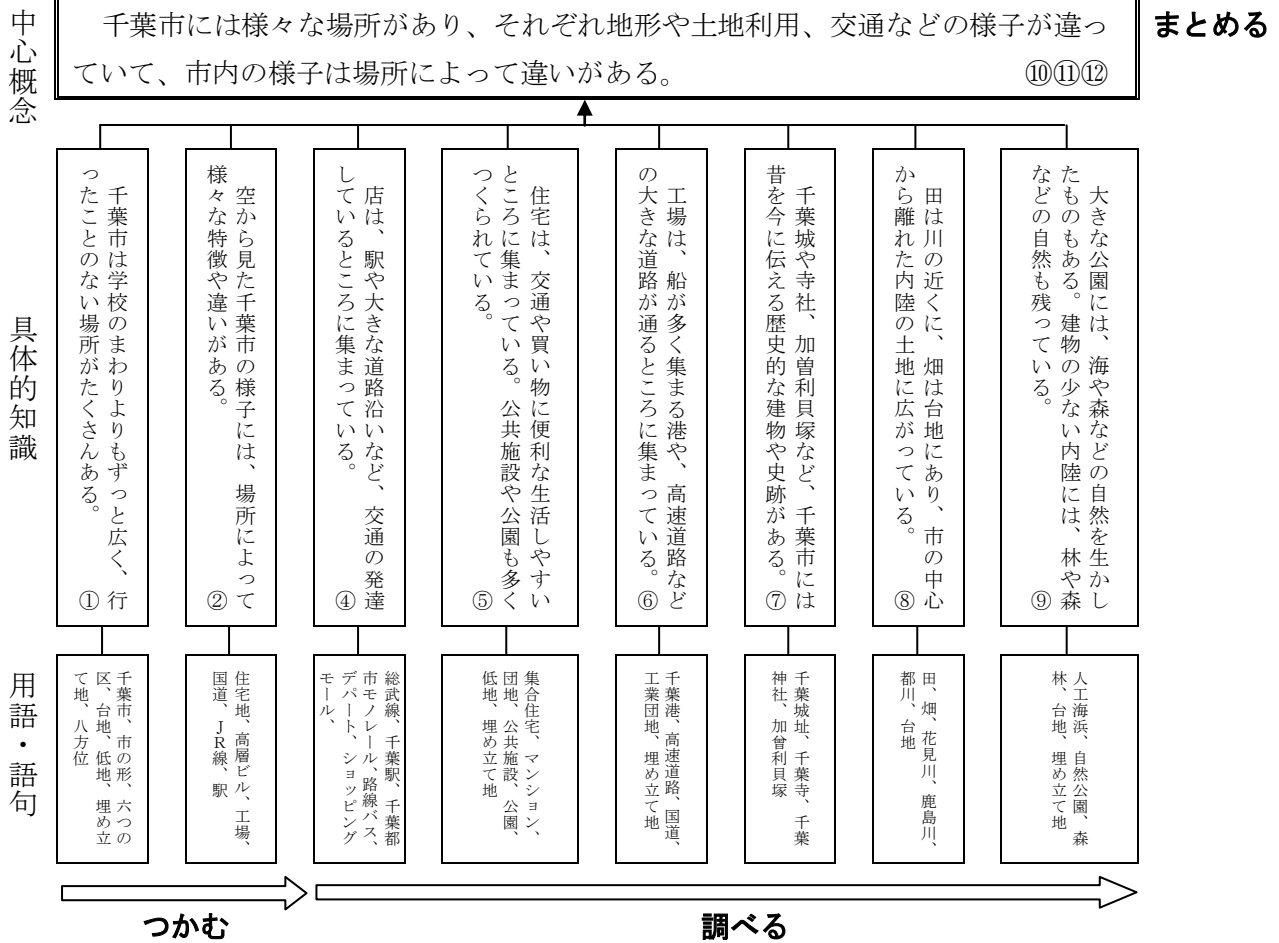
前小単元で児童は学校のまわりの様子について学習してきた。本小単元では、千葉市にはどのような場所があり、どのような様子になっているのかを学ぶ。千葉市には様々な場所があり、地形や土地利用、交通など、場所によって様子は大きく違うことを理解させていきたい。児童はこれまで、生活科の学習や社会科の前小単元の学習で、学区内の様子など、直接見学して調べられる範囲で学習を行ってきた。本小単元では、学区から市へと範囲が広がる。既習事項を生かしながら、実際に行けない範囲について、地図や資料を使ってどのように調べ学習を進めていけばよいかを学ぶことが、県の様子や国の様子などの今後の学習につながっていく。

本学級の児童は、身近な地域の様子に対する興味や関心は高く、意欲的に調べようとする姿が見られる。しかし、児童にとっての身近な地域とは学区周辺に限られた範囲であり、学区内においても自分の住んでいる地域以外の様子は知らないことが多かった。範囲を市まで広げると、市内のいろいろな場所や施設に行った経験は少なく、市がどこまで広がっているかという認識も非常に低かった。前小単元では、「たこむし」（た：建物の様子、こ：交通の様子、む：昔からあるもの、し：自然の様子）の視点で、学校の屋上から周りの様子を観察したり学区内を歩いて調べたりして、わかったことを地図にまとめる学習を通して、学校の周りの様子について学習してきた。観察・調査の際には、建物の名前や位置を記録したり、気付いたことをワークシートに記入したりすることができた。地図にまとめる活動では、集まっている建物の種類ごとに色分けしたり、主な地図記号を使ったりして、学校の周りの様子を白地図にまとめることができた。しかし、調べたりまとめたりする視点が児童に十分定着しているとは言えず、観察・調査の結果が事実確認のみに終わってしまう児童や、複数の視点から学校の周りの様子について考えることが難しい児童も多かった。

そこで、本小単元では、児童の視野を学校の周りから市へとスムーズに広げるために、「つかむ」の過程で教室の床一面に拡大した地図を用意し、学区の地図を当てはめて千葉市の広さを確認したり、航空写真を観察して市の概観を広く捉えさせたりする。拡大した地図上を歩きながら、空から千葉市の様々な場所を観察する活動は、児童の千葉市への興味や関心を高め、市の様子についてもっと知りたいという思いをもって学習を進めていくことにつながるだろう。また、単元を通して調べたりまとめたりする視点の内容を再確認し、児童全員が共通の意識をもって学習を進めていけるようにする。

「調べる」の過程では、地図や写真などを使って、確認した視点に沿って1時間ずつ丁寧に調べ、まとめていく。その際扱う地図や資料は、児童にとって身近な地域と比較できたり、複数の視点に関連付けて地域の様子を読み取ったりできるように精選し、提示の仕方も工夫していく。このような学習を通して、児童にとっての身近な地域を千葉市に拡大し、千葉市の様子への理解を深めるとともに、千葉市のよさに気づき、児童が日々暮らしている市に対して誇りや愛情をもてるようにしていきたい。

### 3 知識の構造図



## 6 小単元の指導計画（12時間扱い）

過程	時間	主な学習活動と内容
つかむ	1	<p>○千葉市を表した絵地図を見て、市の様子に関心をもち、市の様子を調べる方法を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の経験をもとに、千葉市内で行ったことのある場所について絵地図で確かめる活動を通して、市の様子について「たこむしマン」の視点で話し合う。</li> <li>・6つの区や、市内の土地の高さや河川の様子など、市の概要について触れる。</li> <li>・学校の屋上から学校のまわりの様子を調べた経験をもとに、市の様子を調べる方法について考える。</li> </ul>
	2	<p>○拡大した地図上で千葉市と学区の広さを比べたり、数か所の地域の航空写真を観察したりして、見えたものや気付いたことをまとめ、学習問題を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「たこむしマン」の視点で市内数か所の地域の航空写真を観察して、見えたものや気付いたことをワークシートに書く。</li> <li>・航空写真の観察で見えたものや気付いたことについて、「たこむしマン」の視点で話し合い、もっと知りたいことから学習問題を立てる。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>学習問題 千葉市にはどのような場所があり、それぞれどのような様子なのだろう。</p> </div>
	3	<p>○学習問題に対する予想をし、何について調べるか話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・予想をもとに学習計画を立てる。</li> <li>・「たこむしマン」の視点で千葉市の様子を調べ、「千葉市・たこむしマン・マップ」を作ることを確認する。</li> </ul>
調べる	4 本時	<p>○店や大きな建物が集まっている地域の様子を、写真や資料などを使って調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・JR千葉駅付近の動画や写真、店の分布を表した地図から、店が集まっているところと交通の関係に目を向けたり、地域ごとの店の様子を比較したりして調べる。</li> </ul>
	5	<p>○住宅が集まっている地域の様子を、写真や資料などを使って調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・JR検見川浜駅付近や緑区の新興住宅地付近の写真、公共施設や住宅の分布を表した地図から、住宅が集まっているところと交通の関係に目を向けたり、地域ごとの住宅の様子を学区にある住宅地と比較したりして調べる。</li> <li>・区役所や図書館、公民館など、身近な公共施設の役割について考える。</li> </ul>
	6	<p>○工場が集まっている地域の様子を、写真や資料などを使って調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・千葉港付近や工業団地の写真、工場の分布を表した地図から、工場が集まっているところと交通の関係に目を向けたり、地域ごとの工場の様子を比較したりして調べる。</li> </ul>
	7	<p>○古くからある建造物や史跡などがある地域の様子を、写真や資料などを使って調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・千葉城や寺社、加曾利貝塚などの史跡の写真や資料から、学区にあるものと比較するなどして、千葉市にある昔を今に伝えるものについて調べる。</li> </ul>
	8	<p>○田や畑が集まっている地域の様子を、写真や資料などを使って調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・川沿いの田畑が集まっている地域の写真や田畑の分布を表した地図から、田畑</li> </ul>

		が集まっているところと土地の高低や川との関係を調べる。
	9	○自然を生かした公園や森林の様子を、写真や資料などを使って調べる。 ・いなげの浜付近や泉自然公園付近の写真、公園や緑の多いところの分布を表した地図から、公園や森林などと行政区画や土地の高低などとの関係を調べる。
ま と め る	10	○調べたことを整理し、千葉市全体の様子をまとめる。 ・店、住宅、工場、田畑が集まっているところや、公共施設、昔を今に伝えるもの、自然があるところ、交通や人の様子について、それぞれ「たこむしマン」の視点で整理する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">まとめ 千葉市には様々な場所があり、それぞれ地形や土地利用、交通などの様子が違って、市内の様子は場所によって違いがある。</div>
	11 12	○学習した内容をもとに、自分たちで「千葉市・たこむしマン・マップ」を作る。 ・これまでの学習で調べた千葉市の「たこむしマン」について、グループで地図にまとめる。

## 7 市教研社会科研究主題解明のための方策

変貌する未来を切り拓く社会科学習  
～手応えの発見につながる『深い学び』の探求～

### 研究内容1 「深い学び」に導く単元づくり

#### ○ 主体的な学びを実現するための単元計画の工夫

児童は前小単元で、「たこむし」の視点で学校の周りの様子を調べてきた。視点を絞ることで、建物の種類ごとの集まりを調べたり、色分けして地図にまとめたりすることができた。しかし、交通の様子に対する生活経験や認知度、自然と捉えるものの判断基準などに個人差があり、いくつかの視点において具体的に何を調べたりまとめたりすればよいか迷う児童の姿も見られた。本小単元でも調べる視点を設定し、既習事項を生かして調べたり、学区の様子と比べながら考えたりしやすいようにしていきたい。そのため、「たこむし」の視点の内容を精査し、児童とともに再確認して学習を進めることにした。

た：建物（住宅、店、工場、公共施設）などの様子  
こ：交通（乗り物、道路、線路、駅）などの様子  
む：昔を今に伝えるもの（神社、寺、なにかの跡地）の様子  
し：自然（土地、海や川、田や畑、緑が多いところ）の様子  
マン：人（人の流れや集まり、人の生活）などの様子

前小単元からの大きな変更点は、交通と自然についてである。交通においては、内容に乗り物を加え、本学級の児童にとってあまり身近でない電車やモノレールについても意識を持たせていく。また、交通で意識されにくかった人の様子を、別の視点として設定する。市の様子で学習するどの地域においても、人が土地利用に関わり、人が生活していることを意識させ、自分も千葉

市に暮らす一人の人として捉え、市に対する誇りや愛情を育てていきたい。自然においては、海浜公園や自然公園などの自然を利用した公園は自然で扱い、その他の公園は公共施設として扱っていく。なお、自然の視点と土地利用の関わりについては、学習コンテンツを利用して理解できるようにしていく。このように視点を明確にすることで、「つかむ」「調べる」「まとめる」のどの過程においても、全員が同じ視点で調べたりまとめたりすることができるため、千葉市の地域ごとの土地利用の特徴に気づき、地域の様子の違いを理解することができると思う。

## 研究内容2 「深い学び」に導く授業づくり

### ○ 対話的な学びを実現するための教材の工夫

本学級の児童は、千葉市に住んでいるものの、学区周辺を生活圏としており、千葉市の様子についてほとんど知らない。そこで、「つかむ」の過程において、市の概観を捉えさせるために、教室の床に拡大した地図を製作する。この教材を本時においても活用し、調べてわかったことなどを地図に加えたり、情報をみんなで共有したりできるようにする。本小単元の学習を通して児童がいつでも教材と対話することができるような環境を作っていきたい。また、身近な地域の光景と比べやすい映像資料や、クリアシートを重ねるだけで複数の視点の関わりが捉えられる教材を用意する。児童の興味・関心を高めつつ、既習事項と比べて考えることができたり、具体物を操作して調べたりすることができるような教材の工夫は、実際に行けない範囲についての初めての調べ学習を進めていくうえで、児童の手助けになるとともに、教材との対話の中から必要な情報を読み取っていく経験が、今後の学習の指針になると考える。

### ○ 対話的な学びを実現するための展開の工夫

学習の展開においては、児童がグループで協力して資料を調べたり、わかったことや気付いたことを伝え合ったりする場面を設定する。児童同士の対話がうまれるよう、班の中で2つのグループ異なる内容を調べ、わかったことを班に戻って伝え合わせたり、グループの意見をまとめてそれぞれの班なりの結論を立てるように声をかけたりといった手立てをとっていく。児童同士の対話は、資料から必要な情報を読み取る力に自信のない児童にとっての手助けとなり、他の児童にとっても新たな見方や気づきを得るなど、互いの学びを広げていこう。また、教師と児童の対話の主は発問であるが、その際には視点ごとに着目させる発問だけでなく、2つ以上の視点の関係性を問う発問を心がけ、事実確認のみならず、複数の視点から関係性を導き出すようにして学びを深めていきたい。最後に評価の際には、1単位時間内の活動における発言やワークシート、学習をまとめたノートの評価に加え、学習の振り返りによる自分との対話も評価する。この主体的・対話的な学びを通して、児童の学びの深まりを体感することで、自分自身も学びを深めていきたいと考える。

## 8 本時の指導（4／12）

### （1） 本時の目標

- 調べる視点に基づき、資料を活用して、店の多い地域の様子について必要な情報を読み取ることができる。 ＜観察・資料活用の技能＞
- 店が多い地域には、駅や大きな道路などの交通条件が関係していることを考え、表現することができる。 ＜社会的な思考・判断・表現＞

### （2） 本時の展開

時配	学習活動と内容	○教師の指導と支援 ◆評価	資料
2	1 これまでの学習を振り返り、本時の学習に見通しをもつ。	○前時に立てた学習計画を掲示し、本時の学習内容を想起できるようにする。	○単元の学習計画をまとめた掲示物
	どのようなところに、店は多く集まっているのだろう。		
8	2 富士見交差点の動画を見て、店の多い地域の様子を観察し、気付いたことを話し合う。 ・学校の周りよりにぎわっているね。 ・お店や人がたくさん見えるけど、どんなところなのだろう。	○電車や車などの交通、様々な店、人でのぎわう様子など、視点に沿ったものが確認できる動画を使う。 ○「たこむしマン」の視点に沿って、学校の周りの様子と比べてみるよう声をかける。	○店の多く集まる地域の動画
10	3 店の集まっている地域を地図で示し、どんなところに店が集まっているのか予想を立てて発表する。 ・学校の周りの様子では、バス通りや車通りの多い道路沿いのところに店が集まっていたよ。 ・電車が見えるから、線路沿いか駅の周りかな。 ・便利なお店が集まっていると思うよ。 ・家の集まっているところの近くにお店がたくさんあるんじゃないかな。	○自分なりの予想を立てて調べ学習に臨めるよう、これまでの学習や、掲示した写真からわかることを想起させる。 ○「便利なお店」などの予想はさらに問いかけ、より具体的な予想を立てられるようにする。 ○個々の予想を共有するなかで、全体の意識として、交通に関わる予想が立つように導いていく。	○土地の利用図 ・店の集まっている地域 ○動画を静止画にした写真 ○これまでの学習掲示物 ・学区の様子
10	4 予想に基づき、班の中でグループに分かれて各コーナーで調べ、班に戻ってわかったことを伝え合う。 「店のあつまりと駅とのかかわり」 ・駅の位置とお店が集まっているところがぴったり重なるよ。 ・モノレールの駅の周りにもお店が集まっているね。	○協力して調べられるよう、班の中で相談し、できるだけ各グループが2人ずつに分かれるようにする。 ○シートを重ねることで、店と交通の関係が一目でわかるような教材を用意する。 ○班で共有する際に、うまく情報を読み取れていないグループがある場	○土地の利用図 ・店の集まっている地域 ・線路シート ・道路シート ○ワークシート ○拡大白地図

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・重ならないところがあるのはなぜだろう。</li> <li>「店のあつまりと道路とのかかわり」</li> <li>・大きな道路沿いにお店が集まっているところがあるよ。</li> <li>・道路沿いならどこでもいいという訳ではないんだね。</li> <li>・道路沿いではないお店へは電車で行けるのかな。</li> </ul>	<p>合は、みんなで調べさせたり、担任が支援したりする。</p> <p>○全体での共有に向けて、グループの意見をまとめて、各班なりの結論を立てるよう声をかける。</p> <p>◆調べる視点に基づき、資料を活用して、店の多い地域の様子について必要な情報を読み取っている。</p> <p>(発言・ワークシート) &lt;技能&gt;</p>	
10	<p>5 調べてわかったことを発表し合い、学習のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・駅の近くに店がたくさん集まっていることがわかるね。</li> <li>・駅の近く以外でお店が集まっているところは、大きな道路沿いだね。</li> <li>・交通の便利なところだとお客さんにいっぱい来てもらえるからいいね。</li> <li>・お店の集まっているところには、買い物客や働く人がたくさん集まってくるんだらうな。</li> <li>・お店の集まりは「た・こ・マン」の視点で説明できそうだね。</li> </ul>	<p>○店と交通の利便性の関係が確認できるように、それぞれのシートを重ねて、テレビで提示する。</p> <p>○大きな道路の基準を確認するため、大きな道路沿いの大型店の写真を提示する。</p> <p>○人の視点についても意識できるよう、店の集まりにどの視点がか関係しているのか問いかける。</p> <p>◆店が多い地域には、駅や大きな道路などの交通条件がか関係していることを考え、表現している。(発言・ワークシート) &lt;思考・判断・表現&gt;</p>	<p>○土地の利用図</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・店の集まっている地域</li> <li>・鉄道シート</li> <li>・道路シート</li> </ul> <p>○写真</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワンズモール</li> </ul>
5	<p>6 振り返りを書き、次時の学習に見通しをもつ。</p>	<p>○本時でわかったことや友達から学んだこと、これから調べてみたいことなどを書かせ、活動を振り返り、学びを広める。</p>	

大きな道路沿いや駅などの交通が便利なところには、お店が多く集まっている。